

# 近代京都の施薬院

八木聖弥 著

A5判・304頁／定価3,675円(5%税込) ISBN978-4-7842-1705-2

奈良時代に貧窮病者を救済するために設置された施薬院。明治維新から大正にかけて、施薬・施療のために人生をかけた安藤精軒。貧困者への医療普及を目指した精軒がとった手段が「施薬院」の復興であった。一個人の施療場から始まった行動は、多くの人々の協力を得て慈善事業として拡大していく。「施薬院」を中心として、京都医界の歴史を描き出し、近代化していく日本の一側面を考証。

## 〈内容目次〉

### 目次

序 — 施薬院再興前史 —

第一章 東三本木治療場の創設

安藤精軒の生い立ち

北方での精軒

京都での精軒

水西荘での施療

第二章 施薬院の再興

京都医会の創設

施薬院設立協会の発足

保徳院での施療

施薬院協会への移管

施薬院の閉鎖

第三章 施薬院の発展と終焉

入信院での施療

入信院南隣地への移転

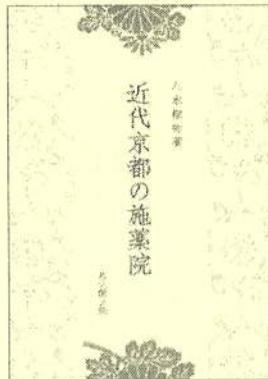
聚楽病院跡への移転

安藤精軒・施薬院関係年表

あとがき

図版一覧

索引



二〇一三年十月刊

やぎ・せいや…1958年京都市生まれ。同志社大学大学院修了。博士(文化史学)。京都府立医科大学准教授。著書に『太平記的世界の研究』(思文閣出版)、論文に『医は意なり』の思想系譜(『醫譚』復刊第89号)など。

思文閣出版

〒605-0089 京都市東山区元町355 tel. 075-751-1781 fax. 075-752-0723  
http://www.shibunkaku.co.jp E-mail: pub@shibunkaku.co.jp

注文票		発行: 思文閣出版		(京都 取引コード 3402)	
冊数	冊	近代京都の施薬院	本体3,500円(税別)	ISBN978-4-7842-1705-2	
お名前		tel			
		e-mail			
ご住所	〒				
送本方法	<input type="checkbox"/> 書店経由 (このちらしを書店にお渡し下さい) <input type="checkbox"/> 代引 (書籍代+送料を現品と引き替えにお支払い)				
			本書HPのQRコード		書店番線印

## 京都療病院お雇い医師ショイベ 滞日書簡から

森本武利編著／酒井謙一訳

ショイベの生涯をはじめ、ほかのお雇い外国人達との交流や居留地での生活から明治初期の京都の風俗にいたるまでを、生き生きと魅られる。巻頭に絵写真、巻末にショイベの業績リスト・年譜を付す。

▶A5判・346頁／定価 7,350円 ISBN978-4-7842-1581-2

## 緒方惟準伝 緒方家の人々とその周辺 中山沃著

洪庵の嫡子で、ボンベ、ボードインらに学んだ惟準は、宮廷医療への西洋医学導入、大阪大学医学部・軍医学校の前身創設、大阪での医療基盤確立などに貢献。その自叙伝「緒方惟準先生一話」を軸として、著者が博搜した資料とともにその生涯と交遊を詳述。幕末・明治初期の医学界をものがたる基本図書。

▶A5判・1008頁／定価 15,750円 ISBN978-4-7842-1563-8

## 明治の避病院 駒込病院医局日誌抄 磯貝元編

当時わが国の代表的な伝染病院であった駒込病院の勤務医が当直時に書き誌した医局日誌全11帖(明治32年～42年)から編者(元駒込病院副院長)による脚注を付して翻刻抄録。ペスト・チフス・赤痢患者の悲惨な状態、医師や看護婦の診療への取り組み、医局内の行事や人事など伝染病を取り巻く当時の様子が生々しく活写されている。

▶A5判・530頁／定価 13,650円 ISBN4-7842-0998-0

## 近代医史学論考 阿知波五郎論文集 上 阿知波五郎著

戦後欧米の医史学研究の動向に触発され、比較医史学の視点からヨーロッパ医学受容の歴史を自らのテーマとし、初めてヨーロッパ医学の影響を実証的に体系化した氏の論稿のうち、新生日本医史学の息吹が感じとられる記念すべき「近代日本外科学の成立」と明治初期医学関係論文14篇を収める。

▶A5判・420頁／定価 6,300円 ISBN4-7842-0448-2

## 医療の社会史 生・老・病・死 京都橋大学女性歴史文化研究所編

【内容】平安中後期における貴族と医師／鎌倉幕府の医師／『本草綱目』に見る中国医療の到達点／室町・戦国期の山科家の医療と「家業」の形成／曲直瀬玄朔とその患者たち／幕末京都における医家と医療／明治前期の村と衛生・病氣／錯乱と祟りの間／母乳が政治性を帯びるとき

▶A5判・304頁／定価 2,940円 ISBN978-4-7842-1677-2

## 現代医療の原点を探る 百年前の雑誌「医談」から 前田久美江編著

明治26～41年に刊行された私立奨進医会機関誌『医談』は、近代医療制度の確立過程における医学界を窺う史料。本書はその記事を抄録し、江戸から明治にかけて日本の医療事情や教育環境がどのような状況にあり、医師がどう行動し、何を考えていたかを浮かび上がらせる。

▶A5判・312頁／定価 2,625円 ISBN4-7842-1193-4

## 北垣国道日記「塵海」 塵海研究会編

明治期の地方官・北垣国道(1836～1916)が京都府知事に就任した明治14年から、北海道庁長官などを経て京都に隠棲した明治34年までの活動を書き記した日記「塵海」の翻刻。これまで明らかではなかった明治期地方官の実情を記した第一級資料で、京都のみならず、中央政治史や地方自治・土木史、北海道史研究の進展に寄与する資料。

▶A5判・652頁／定価 10,290円 ISBN978-4-7842-1499-0

## みやこの近代 丸山宏・伊従勉・高木博志編

平安や桃山時代がしばしば話題になる歴史都市・京都は、実は近現代に大きく変わった街であった――京都大学人文科学研究所「近代京都研究会」で論じられた様々な分野の具体的な主題をもとに、近代現代の京都の根本問題を見通す視座を形成しようとした試み85篇。図版多数収録。

▶A5判・268頁／定価 2,730円 ISBN978-4-7842-1378-8

## 医療福祉の祖 長与専齋 外山幹夫著

長崎・大坂で医学を学び、長崎医学校の初代校長となった長与専齋。日本近代の医療・衛生・福祉の確立者ともいべき長与の生涯に焦点をあて、明治新政府の政策の中で近代医療福祉制度がどのように整理されていったのか、その功績を家族・交友関係など幅広い視点から明かす。

▶A5判・200頁／定価 2,100円 ISBN4-7842-1107-1

## 東大医学部初代総理池田謙齋〔全2冊〕 池田文書研究会編 池田文書の研究

池田謙齋宛の約4,000通の文書類を翻刻。内容は、東大医学部の前身である幕府医学所関係文書およびその関係者からの書簡、ならびに池田謙齋宛の書簡などである。本書は、東京大学中樞部・陸軍軍医部・宮内省侍医として関係のあった各官家、同僚侍医、また患者としての華族や高級官僚などによる謙齋宛書簡を上・下2分冊で収録。

▶A5判・総740頁／編定価 15,330円

## 浪速の町医師上田秋成 濱光治著

江戸後期、和漢の文献に関する広い知識の主に特異な文学を打ち立てた秋成の、意外に知られていない医師としての側面に光を当てる。その働きぶりや、その師都賀庭鑑の存在、自らの著書『胆大小心録』二も見られる「医は意」をモットーとした彼の医の心を探る。

▶A5判・178頁／定価 1,937円 ISBN4-7842-0574-8

## 医史学点描 阿知波五郎論文集 下 阿知波五郎著

「世界医学教育史」を祈念しつつ逝った著者の論稿から医学教育史関係15篇、京都・外科関係人物誌17篇、医学随想28篇を収めた。推理小説をも物したその筆のさえずり、海外の医史学書を精力的に歩いた視野の広さ、さらに相次いで肉親の死を体験した氏のヒューマンで真摯なまなざしがうかがえる珠玉の論集。

▶A5判・420頁／定価 7,350円 ISBN4-7842-0449-0

## 緒方洪庵 幕末の医と教え 中田雅博著

新聞記者である著者が、洪庵関係の資料を精査し綿密な取材の下に産経新聞で連載した『適塾再考』を全面改訂・再構成した。「医は仁術」を實踐し、適塾で教育に身を捧げた洪庵の軌跡を、平易な文章で詳細に辿る。適塾門下生の活躍にも光を当て、門下生の詳細な一覧表を収録。

▶A5判・400頁／定価 2,625円 ISBN978-4-7842-1482-2

## 近代日本高等教育体制の黎明 田中智子著 交錯する地域と国とキリスト教界

医学、洋学一般を教育する場がいつに設置・運営されてきたか。主に1870年代初頭から1890年代初頭までを対象とし、各地域の高等教育体制の展開過程を、府県という地域行政主体、支庁省という国の行政主体、伝道を志すキリスト教界、という三勢力の交錯のうちに描く。

▶A5判・448頁／定価 7,350円 ISBN978-4-7842-1618-5

## 近代日本と地域振興 京都府の近代 高久嶺之介著

近代日本の地域社会の姿を、京都府下における、明治前期の京都富津間車道の開鑿・明治前期～中期にかけての琵琶湖疏水と鴨川運河の開鑿・明治初期～昭和の敗戦直後までの天橋立の保存とその振興・明治初期～昭和の敗戦直後にかけての童仙房村の開拓、という特定のテーマを取り上げ、地域振興の視点から考察する。

▶A5判・364頁／定価 6,825円 ISBN978-4-7842-1570-6

## 近代京都研究 丸山宏・伊従勉・高木博志編

近代の京都には研究対象になる豊富な素材が無尽蔵にある。本書は、京都という都市をどのように相対化できるのか、普遍性と特殊性を射程に入れながら、近代史を中心に分野を超えた研究者たちが多数参加し切磋琢磨した京都大学人文科学研究所・共同研究「近代京都研究」の成果である。

▶A5判・628頁／定価 9,450円 ISBN978-4-7842-1413-6

インタビュー・エッセイや新刊情報を掲載した広報誌『鴨東通信』を年4回無料でお送りしています。  
電話・fax・Eメールでお申し込み下さい。※印の書籍は外函・カバーに汚れ・傷みがございます。